

PKで惜敗

鹿島さんの好セーブを喜ぶ選手たち

日ノ本のPKを止めるキーパー鹿島さん



PKを決めた夏目さん

VOICE

柄澤 俊介総監督

3対0になって気が緩んだのかなと思う。日ノ本相手なので、ゲームプランとしては、前半から勝負をかけるしかなかった。前線からしっかりプレッシングをかけた。後半、日ノ本に追いつかれたのは体力面での課題が露呈した。来年度も、インターハイ、選手権、どこまでできるかチャレンジして行きたい。

山室 佳代さん(3年)キャプテン

今大会では、課題としてきた決定力を上げることができた。試合の最後まで体力がもたず、相手のペースになってしまっ

た。試合を立て直すことができなかったのは課題。後輩には、最後までやりきって欲しいという思いが強くなった。応援ありがとうございました。

百武 初樹さん(3年)副キャプテン

試合にはたくさんの方が応援に来てくれて力になった。3点を取れたことは、チームとして成長を感じる。私は、来年度からレイアのトップチーム(※)に入る。この経験や課題を受け渡すだけでなく、後輩たちを育て、強い星槎を作って行きたい。

※OSAレイアFC。星槎湘南大機総合型スポーツクラブのサッカーチーム。星槎の女子サッカーのトップチーム。

立ち上がりは日ノ本学園の早いプレスに思うようにボゼッションができないでいたが、一瞬の隙を突き宮澤が見事に裏に抜け出し先制！相手の早いプレスにも慣れはじめて徐々に得意のパスワークが活きてくる。そして宮澤のスピード溢れる突破から加藤が見事なボレーで追加点。更に宮澤が裏に抜け出す得意の形からこの日2点目を決めて、優勝候補の日ノ本を相手に3対0。その後1失点を喫して前半は3対1とリードして折り返す。後半は日ノ本の1対1を仕掛けられる粘り強いサッカーに徐々に足が止まってしまう。GKのアクシデントもある中、果敢に勝ち越しゴールを目指すのが勝利はPK戦へとつれこみ。結果は3対4。3点のビハインドを追い付いた勢いそのままに日ノ本が2回戦へと駒を進めた。ハイプレッシャー&ハイスピードの中でも展開されたテンポの良いパスワークと、サイドを広く使った迫力ある攻撃は見事だった。勝負は時の運。百花繚乱の勇姿は、多くの人に感動を与えてくれた。ありがとう！

(本紙評論家 望月展弘)

佐藤尚正校長が激励



生徒にメッセージを送る佐藤校長

12月8日、星槎国際高校・佐藤尚正校長、前田豊校長代行が、星槎湘南大機キャンパスを訪れ、湘南学習センターの生徒を激励した。硬式野球男女サッカー、女子バレー、陸上の各部活動のキャプテンから2016年の活動報告と2017年の決意が述べられた。佐藤校長からは、「星槎の皆が湘南の部活動を応援している。それぞれの部活の頑張りが、生徒一人ひとりの誇りとなっている」という温かい言葉が送られた。この言葉を胸に、生徒たちは今年も練習の日々を送る。

試合結果

星槎	3 - 1	日ノ本学園
3	0 - 2	3
	PK	
	3 - 4	

◆得点
(星槎) 宮澤ひなた2点、加藤もも
(日ノ本) 澁川鈴菜2点、目原莉奈

望月の眼



ヤレド・アスメロン選手 躍動！ 星槎アスレチッククラブ

福岡国際マラソン結果

- ◆エリトリア選手
- 5位 アマヌエル・メセル選手 2時間10分48秒
 - 9位 ヤレド・アスメロン選手 2時間11分57秒

福岡国際マラソン 9位

12月4日に実施された福岡国際マラソンにエリトリア国から2選手が招待選手として参加。アマヌエル・メセル選手は5位、ヤレド・アスメロン選手は9位という結果だった。小雨が降る悪条件のもとでのレース。ペースメーカーが22km過ぎでリタイア。その後もヤレド選手は先頭集団をキープするものの、25kmからスパークする選手が出た。その後も粘りの走りを見せた。優勝はエチオピアのツェガエ選手。

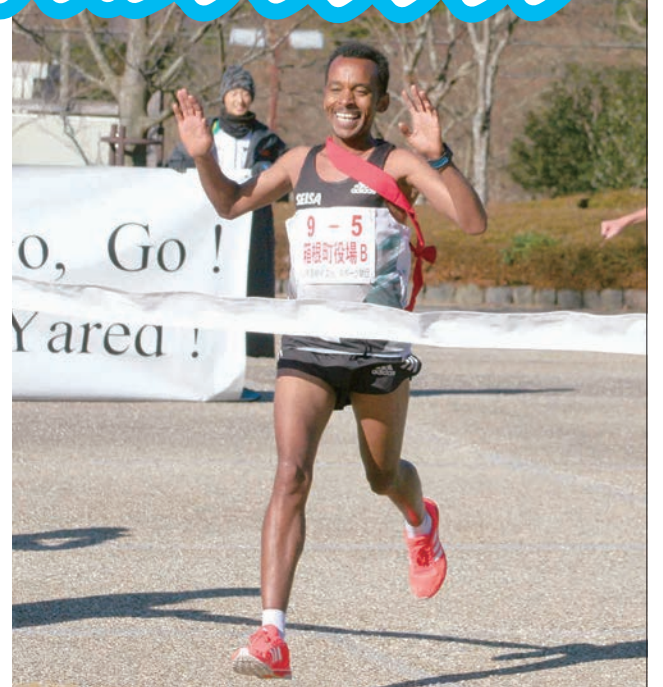
ヤレド選手 星槎のスポーツアンバサダーに

12月16日、星槎湘南大機キャンパスでヤレド選手の顕彰会が開催された。星槎グループの職員、生徒、道都大学の学生合せ



表彰状を手にヤレド選手(左)と宮澤会長(右)

て30名程が見守る中、箱根町駅伝で区間記録を大幅に上回る記録を出し、見る人々を魅了した走りを見せた。星槎グループの宮澤保夫会長より表彰状と盾が授与された。次に、星槎のスポーツアンバサダーを委嘱する辞令の交付。最後に、来年度より道都大学(来春より星槎道都大学と名称変更)へ入学する書類の取り交わしが行われた。ヤレド選手は来年度から、トップアスリートにして37歳の大学生となる。今後は、ヤレド選手や多くの選手が、星槎の、日本の子どもたちに多くの感動を与えてくれることになるだろう。彼らの試合やトレーニングでの姿勢が、子どもたちへの刺激となり、成長の契機となる。ヤレド選手は、4月に行われるボストンマラソンに招待されている。



箱根町駅伝でゴールするヤレド選手

神奈川県サッカー協会 本木会長に聞く 日本サッカーの今、そして未来

日本サッカー(男子)の現状と展望を星槎グループのアドバイザーで、神奈川県サッカー協会の会長である本木幹雄さんにお聞きした。

日本サッカーは発展途上

▼2016年はリオオリンピックがありましたが、日本は男子が出場しましたが、残念ながらグループリーグで敗退しました。A代表も2018年W杯アジア最終予選で苦戦しています。現在の状況をどのようにお考えになりますか。

2014年のブラジルW杯での惨敗を考えると想定範囲内。日本のサッカーはまだ発展途上の段階。▼リオでは、これまでと同じ課題である決定力不足・足元の弱さが指摘されていました。日本サッカー協会(以下JFA)では、大会毎のゲーム分析を基に、日本代表の強化指針を出している。日本の弱点についても共通理解を持っていく。この強化指針は代表だけに留まらず、指導者養成、育成年代の指導においても共有されている。例えば、A代表のハリルボッチ監督の言うデュエルとは、球際の強さや競り合の強さについてのこと。

▼2015年ラグビーW杯の日本代表ヘッド

それは一理ある。サッカー界は変わってきているが、日本スポーツ発展の歴史の中で、個人プレーをわがままとしていた部分があったかもしれない。日本では、ポゼッションサッカーが根付いた。その弊害として、ボールをつなぐことに満足してしまっている場面も見られる。大切なのは、ゴールを奪うこと、ゴールを守ることだ。JFAでは、セクターフォワードを育てる、ゴールを狙うという意識づけとトレーニングを始めている。だが改善には時間がかかる。

サッカーの楽しさ

▼JFAは、サッカーを生涯スポーツとしてどのように根付かせようとしているのですか。

JFAは、2014年にグラスルーツ宣言をした。(Good Grass for All)のコンセプトのもと、年齢・性別・障がい・人種などに関わりなく、だれもが、いつでも、どこでも、スポーツの持つすばらしさや楽しさを育み、分かち合う取組を始めている。心からサッカーを身近に感じてもらい、楽しむことが豊かなスポーツ文化、ひいては生涯スポーツにつながることを考えている。

▼サッカーの楽しさとはどのようなものでしょうか。

神奈川県サッカー協会には三つの理念があり、その中に「Play soccer」

まずサッカーを楽しむ「しょう」という文言がある。まずは、プレーしてみることが楽しむ第一歩。サッカーが世界的に人気なのは、ボール1個あればすぐにできるから。そのボールに人が集まる。楽しんでいる中で、もっとサッカーが上手くなり、プロになるという頑張る子どもも出てくるだろう。

▼さらに多くの人が、特に子どもがサッカーの楽しさを通して、成長して行く環境がこれまでにないでなければ良いですね。

12歳以下の子どもの指導するには、原則としてJFAの公認D級コーチのライセンスが必要。子どもたちへのコーチング法も体系化されている。子どもはほめて育てる。言葉での問いかけについても決まった方針がある。それがまだ全体に行きわたっていないのは残念だ。サッカーはとても楽しいもの。そしてサッカーをプレーするなかで、喜びや悲しみ、仲間との助け合い、相手への共感や敬意も学ぶことができる。まずは、多くの子どもたちにボールを蹴ってもらいたい。

未来に向けて スポーツを超え

ブータン王国から
関係者来日



大磯キャンパスでのミーティングを終えて

2020年東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地の視察等のため、ブータン王国からブータンオリンピック委員会事務局長ソナム・カルマ・ツェリン氏、ブータンアーチェリー連盟、射撃連盟、陸上競技連盟の会長、理事等の9名が12月11日に来日した。一行は、小田原市、箱根町等の練習施設を見学した。他、日本オリンピック委員会とのミーティングや神奈川県黒岩知事を表敬訪問した。また、12月15日には、神奈川県の大磯プリンスホテルでレセプションパーティーも開催。100名以上の関係者が集った。星槎は今回の来日をコーディネート。今後は、ブータン国が事前キャンプ地等の検討を行うが、星槎は引き続き2020年とその先に向け、教育・文化・スポーツの環境支援を通して子どもたちの未来をサポートしていく。

星槎名古屋中学校 スポチチャン部 連続入賞



表彰状を手にする板谷くん(左)と丹羽くん(右)

スポーツチャンバラ部が2大会連続の活躍を見せた。第1回三重県スポーツチャンバラ選手権大会が、11月27日に同県木曽岬町体育館で開催された。星槎名古屋中の生徒は、6級・3級の部に出場(20名出場)。競技は、基本動作・小太刀・長剣の3部門で行われる。9月の大会で、4位だった板谷一秀くん(3年)は、小太刀・長剣の両部門で準優勝。丹羽一富くん(2年)は、小太刀の部で第4位(取組賞)に入賞した。初入賞の丹羽くんは、「結果を残すことができて嬉しい。次回には3位になれるよう練習に励む」と喜びを語った。板谷くんも、「初めて決勝戦に出ることが嬉しい」と話す。顧問の村松直樹教諭は、「板谷くんは、最上級生としての責任感と中学校生活最後の大会に懸ける彼の強い思いを感じた。板谷くんの思いを汲み取り、後輩たちにも今後の大会で結果を残して欲しい」と語る。今後、スポチチャン部の活躍に期待したい。

箱根駅伝 日本体育大学 総合7位



7区を走る日本体育大学3年の城越勇星選手(写真左)

正月の風物詩、箱根駅伝(第93回東京箱根間往復大学駅伝競走)が1月2日、3日に開催された。箱根駅伝は、出雲駅伝、全日本大学駅伝とともにも男子大学3大駅伝の一つ。東京大町から箱根芦ノ湖までの間(全10区・217.1km)を2日間かけて往復する。結果は青山学院大学が3年連続優勝に加えて、今年度、男子大学3大駅伝の全てに勝利する3冠を達成した。星槎の多くの体育教員の母校である日本体育大学は、往路13位、復路3位、総合7位の成績で、来年のシード権を獲得した。また6区を走った秋山清仁選手(4年)は区間新記録を出した。箱根駅伝は、来年度が楽しみだ。

VOICE

渡邊 正昭 駅伝監督
日本体育大学
昨年はシード権を狙って、今年は3位以内を狙っての7位だった。結果には満足していないが、同じ7位でも、今年はゴール後、悔し涙を流す選手を見て、選手たちの勝負に対する意識が確実に変わってきていると感じた。来年度が楽しみだ。

福井学習センター 新人戦で活躍!



新人戦に出場した選手たち。中央がバドミントンの表彰状

星槎国際高校福井学習センターが11月20日に開催された県新人戦で活躍。福井は、夏の全国大会でも、星槎で最多の5競技に出場。10月に行われた第64回北信越高等学校定時制通信制総合体育大会でも、

平成28年度福井県高等学校 定時制通信制新人大会 結果

※○数字は学年、()はエントリーチーム・選手数

- ◆バドミントン
男子団体(6チーム)
優勝 安澤 毅彦③、中山 優希①
正木 貴也①、山本 大貴①
男子個人(19名)
正木 貴也① 優勝
安澤 毅彦③ ベスト8
山本 大貴① ベスト8
中山 優希① 2回戦
女子団体(8チーム)
3位 杉本 麗羅②、坪川 咲良②
藤本 理子②、村本 朱莉②
鶴野 鈴音①
女子個人(23名)
杉本 麗羅② ベスト8
村本 朱莉② ベスト8
鶴野 鈴音① 2回戦
- ◆卓球
女子個人(12名)
荻輪 知子③ 4位
小畑 奈緒③ 2回戦
- ◆バスケットボール男子(4チーム)
3位 伊藤 里夢斗②、岩佐 圭祐②
近藤 武斗②、佐々木 勇大①
竹島 悠貴②、村居 吉宮①
佐々木 優吏①、吉宮 祐崇①

VOICE

正木貴也くん(1年)
個人戦、団体戦ともに福井に優勝旗を持ち帰ることができて良かった。来年度は、団体戦はもちろん個人戦でも1セットも落とさずに全国大会に出場し、優勝を目指したい。

都大 部活紹介

「共に歩もう、共に楽しもう」

アダプテッドスポーツ部

道都大学には、障がいのある方々と共にスポーツを楽しむ、というア



参加者と話ながら登山をするアダプテッドスポーツ部

アダプテッドスポーツ部がある。アダプテッドスポーツとは、多くの人が参加できるよう、スポーツのルールや用具を障がい者や高齢者、子ども等に合わせたスポーツのこと。部活動の中で、メインとなるのは車いす登山。3年目の今年は冷水山(702m)に登った。登山には、車いすの方一人にスタッフ6名程

が付き添う。参加者の体調も考え、山頂で記念撮影とお昼ご飯を済ませて下山するという約3時間の行程。キャプテンの平本郁也さん(社会福祉学科3年)は、「登山で気をつけることは2つ。1つ目は、スズメバチの危険を回避すること。2つ目は、車いすの参加者を飽きさせないこと」と話す。車いすのことだけに気持ちが集中してしまうと会話ができなくなり、参加者が飽きてしまう。小学生の参加者の中には、眠ってしまう子もいる。参加者とのコミュニケーションがとることも大切なのだ。「福祉の仕事と一緒に、コミュニケーション能力が高まりました」と褒しげに笑う平本さん。東京オリンピック・パラリンピックでは、活躍する道都大生の姿が数多くみられるかもしれない。

箱根町駅伝

星槎と道都つながるタスキ

第69回箱根町駅伝競走大会(箱根町教育委員会主催)が、12月10日に実施された。星槎レイクアリナ箱根をスタート・ゴール地点とし、全5区間・20kmで競う。地域のスポーツ振興・人々の心身の健全な発達に寄与することを目的として星槎からも星槎国際高校湘南学習センター陸上部の生徒2名、同八王子学習センターの生徒1名が出場。またSEISAチームのメンバーとして、道都大学陸上部の選手2名も参加した。星槎アスレチッククラブ所属のヤレド・アスメロン選手(エリトリア)も出場(オープン参加)。結果は、SEISAチームが優勝(2位と1分29秒差)。ヤレド選手は、オープン参加ながら、区間記録を50秒以上縮めるトップアスリートの走りを見せた。(一面に関連記事)

箱根町駅伝結果

箱根町役場Bチーム(オープン参加)ヤレド・アスメロン選手(星槎アスレチッククラブ)5区(4.5km) 15分02秒

SEISAチーム 優勝(9チーム参加)1時間05分49秒
1区(5.0km) 松舘 悠斗(道都大 1年) 13分31秒(区間新記録)
2区(4.0km) 大塚 光司(湘南 2年) 12分52秒(区間1位)
3区(4.0km) 千田 翔(道都大 1年) 12分15秒(区間1位)
4区(2.5km) 宮田 大輔(八王子 2年) 08分49秒(区間2位)
5区(4.5km) 瀬上 滉夢(湘南 2年) 18分22秒(区間2位)



道都(松舘くん)から星槎(大塚くん)へつなげるタスキ

人を想い 言葉を紡ぐ

星槎オリンピックピック文芸大賞部門

星槎オリンピック文芸大賞部門の各賞受賞者が決定した。星槎オリンピックには、第1号でお伝えしたスポーツ部門・フットサル部門等がある。文芸大賞部門は、他者に想いを

を馳せながら自己表現する力を育む機会であり、星槎の共感理解教育実践の場の一つである。小説が好きで書くことに興味がある生徒が参加する小説部門や、小論文・エッセイ部門賞

セイ・詩・俳句・短歌の6部門で作品を募る。最優秀賞受賞作品等は、かまぐら春秋社の季刊誌『星座』第80号に全文が掲載される。

各賞受賞者

最優秀賞	石原 モモ(3年) 詩「秋」 星槎国際高校八王子学習センター
優秀賞	山下 璃乃(3年) 小説「幽霊」 星槎国際高校仙台学習センター
優秀賞	脇本 紋美(3年) エッセイ「自分にとっての仲間」 星槎国際高校仙台学習センター
優秀賞	河村 唯希(1年) 俳句 星槎国際高校仙台学習センター
小説部門賞 (応募総数18作品)	渡辺 小太郎(2年)「いるんだろ?」 星槎国際高校仙台学習センター
小論文部門賞 (応募総数6作品)	早坂 恵奈(3年)「私の住むまち」 星槎国際高校さっぽろ教育センター
エッセイ部門賞 (応募総数9作品)	佐藤 瑠々(1年)「本当の仲間」 星槎国際高校さっぽろ教育センター
詩部門賞 (応募総数16作品)	竹山 毎(3年)「炎天歌」 星槎国際高校大阪学習センター
俳句部門賞 (応募総数43作品)	岡松 実季(1年) 高知高等学校
短歌部門賞 (応募総数34作品)	井上 穂花(3年) 星槎国際高校横浜鶴居学習センター
審査員特別賞	星野 天音(1年) 短歌 星槎学園大宮校
生徒会特別賞	中島 慧聖(2年) 俳句 星槎国際高校福岡東学習センター

アスリートのもう一つのトレーニング(下)

オピニオン
株式会社LEOC
管理栄養士(マネージャー)
国原 千佳

減っていく。例えば、サッカーで後半になると足が止まるのは、グリコーゲンの枯渇と考えられる(マラソンで30km過ぎにペーシングが落ちる状態もグリコーゲンの枯渇)。

割合で摂取すると、筋グリコーゲンがより増加したとの報告もある(※2)。それらのことから、疲労を速やかに回復させるためにはトレーニング・試合後すぐに食事を摂ることが良いが、食事を摂れない場合には補食を入れる必要があるのだ。補食の例を挙げると、鮭おにぎり1個に牛乳(200cc)1パックを摂ると、糖質とたんぱく質の比がほぼ3対1で補える。乳製品を準備しにくい場合は魚肉ソーセージなど常温保存が可能な食材を利用するのも1つの手段だ。

後半は、スポーツ選手にとって切り離せない疲労について述べていきたい。疲労の原因の1つとして筋グリコーゲンの枯渇が挙げられる。筋グリコーゲンというのは、筋肉中に蓄えられる糖質のことです。筋グリコーゲンの回復には前半で述べた糖質摂取基準量を補食も含めて摂取することが一番重要である。運動前に糖質摂取量を増やすことにより筋グリコーゲンの貯蔵量を増加させることができるが、運動すること

疲労II筋グリコーゲンの枯渇と考えると、疲労を早く取るためには筋グリコーゲンをなるべく早く回復させる必要がある。2部練習や1日に複数試合があり、疲労を早く回復させたい場合にはタイミングも重視していただきたい。運動2時間後に糖質を摂取するより運動直後に摂取した方が2時間目までの回復が約3倍早いという研究データがあり(※1)、さらに糖質だけを摂取するより糖質とたんぱく質を3対1の

割合で摂取すると、筋グリコーゲンがより増加したとの報告もある(※2)。それらのことから、疲労を速やかに回復させるためにはトレーニング・試合後すぐに食事を摂ることが良いが、食事を摂れない場合には補食を入れる必要があるのだ。補食の例を挙げると、鮭おにぎり1個に牛乳(200cc)1パックを摂ると、糖質とたんぱく質の比がほぼ3対1で補える。乳製品を準備しにくい場合は魚肉ソーセージなど常温保存が可能な食材を利用するのも1つの手段だ。

前半の冒頭に述べた通り、競技力向上のために運動と休養、食事の3つが必要であり、今回はスポーツ選手に揃えてほしい基本的な食事の内容を述べた。だが、大学生や社会人の一人暮らしの選手では基本的な食事が揃えられていないことが多くある。そして、安易にプロテインやサプリメントに頼り、基本の食事がおろそかになっている状況も多々見受けられる。選手自身が基本の食事を揃えられているかを確かめるのはもちろんのこと、指導者・保護者の方々もサポートしている選手が適切な食事を摂っているかを確認いただきたい。不足している場合には主食・主菜・副菜・乳製品・果物の5種類が揃った基本の食事を摂るように促してもらいたい。そうすることがケガの予防・コンディショニング調整、さらに

- ※1 Parkin JAM, Carey MF, Martin IK, Stojanovska L, Febbraio MA.: Muscle glycogen storage following prolonged exercise: effect of timing of ingestion of high glycemic index food. Med Sci Sports Exerc. 29:220-224, 1997.
- ※2 Ivy JL: Optimization of glycogen stores. In: Maughan RJ, et al. ed. Nutrition in Sport, Blackwell Science Ltd, 97-111, 2000.

星槎 教師 列伝

逆境を喜ぶ
星槎高尾キャンパス
キャンパス長
平澤 晶子 教諭



大学時代の平澤教諭

多くの人は逆境を迎えたときに心が折れて、途中で挫折してしまったり、自信をなくしてしまったり。しかし、ポジティブシンキングの人は違う。逆境に燃え上がったリ、ワクワクしたりする。今回、平澤に話を聞いたとき、私は前向きに考えることの大切さを学び、勇気をもらった。

平澤に転機が訪れたのは高校1年生の夏だった。幼少期からピアノを習っており、音楽の先生になることを夢見ていた。高

校生になると吹奏楽部に入学した。サクソスを担当していた。ところが、陸上部の顧問だった担任の先生の目に留まり、先生が平澤に内緒で吹奏楽部へ退部届を提出。音楽少女から一転して、走ることに嫌いな陸上部員になったのだ。

平澤の種目は円盤投げだった。スポーツの中でも個人種目なので自分の努力で記録が伸びていくのが楽しかった。思うような結果が出ず、泣いたこともあるがすぐに切り替えて練習したと話す。2・3年生の時にはインターハイに出場した。大学でも円盤投げを続け、4年生の時に出場した日本選手権では3位に入り、アテネオリンピックの強化選手に選ばれた。「円盤投げをしていて良かったことは、色々な人に出会えたこと。そして何より家族が協力してくれたことが嬉しかった」と話す。大学を卒業すると仕事の傍ら、市民楽団に入り、再び音楽の道に。そして星槎へ。も

セイスポ

戸国際高校
千葉県立松
第2試合は
の逆転勝利
戦し、3対2
南高校と対
県立平塚江
第1試合は
合を行った。
後の練習試
シーズン最

野球部は、11月26日に今
シーズン最
後の練習試
合を行った。
第1試合は
県立平塚江
南高校と対
戦し、3対2
の逆転勝利
第2試合は
千葉県立松
戸国際高校
と対戦し、惜しくも0対
2で敗戦した。新チーム
結成以来、練習試合20連
勝を目標としてきたが、
23試合を行い19勝4敗、
19連勝という成績だった。
高校野球は12月1日より
3月7日までシーズンオ
フとなるこの
オフの練習が
春からの飛躍
の鍵となる。

と対戦し、惜しくも0対
2で敗戦した。新チーム
結成以来、練習試合20連
勝を目標としてきたが、
23試合を行い19勝4敗、
19連勝という成績だった。
高校野球は12月1日より
3月7日までシーズンオ
フとなるこの
オフの練習が
春からの飛躍
の鍵となる。

写真中央左から
茂木栄五郎選手、
鈴木大地選手、
若林晃弘選手



左から土屋恵三郎監督、読売巨人
軍・高橋由伸監督、星槎グルー
プ・宮澤保夫会長

読売巨人軍 高橋由伸監督が来校

硬式野球部

必笑
～練習で泣いて試合で笑う～

2016年シーズン
は「成長」と「県ベ
スト8進出」を目標に掲
げスタートした。夏は県
ベスト32、秋は県ベスト
8へと進出し、目標を達
成することができた。目
標を達成した今、新たな
目標へ向け、私たちは歩
んでいる。新たな目標と
は、神奈川県180校の頂
点に立つこと。秋の県大
会で敗れた横浜高校戦。
一方的な試合展開の中、
7回に2点差にまで追い
上げたとき、最後まで諦
めないという粘り強さを
感じた。この経験は財産
となり、来年の飛躍につ
ながると信じている。横
浜高校と再戦した際は、
「同じ相手に二度と負け
ず、今度は倒したい」と思
う。これまでは、夢であっ
た「甲子園出場」を目標に
変え、激戦区、神奈川県
に立つため、個々の成
長はもちろん、チームの
成長を目指す。そのため
に、これまで以上にチー
ムに明るさを植え付けたい。
2017年のスロー
ガンは**必笑**。笑顔がある
星槎らしい戦いで、全国
に笑顔と感動を届ける。
(硬式野球部
監督 土屋恵三郎)



男子サッカー部

文武両道で
卓越した闘争心を磨く



2017年度、男子
サッカー部は、高
体連に所属する星槎国際
高等学校湘南サッカー部
A、Bの2チーム、クラブ
ユース連盟に所属するO
SAFCU-18のいすれ
かのチームに登録し、そ
れぞれが文武両道を実践
しながら全国大会出場を
目指す。サッカー部全3
チームが目指すサッカー
は、応援してくれる方々
の心を動かすことができ
るサッカーである。その
ために大切にしているこ
とは3つある。まず、1つ
目は感謝の気持ちを忘れ
ず、日々の練習に取り組
むこと。2つ目は、次のス
テージで活躍することを
イメージすること。3つ
目はベストを尽くし、O
Bが創り出した良い伝統
や試合結果を上回る取り
組みをすること。これら
を念頭に継続した取り組
みをする。結果が
求められるプレッシャー
の中で仲間と協力しなが
ら平常心で勝負に臨む力
である「卓越した闘争心」
を磨いていく。
スタッフも含めて全人
的な成長を遂げながら、
星槎魂をサッカーで体現
していきたく考える。
(男子サッカー部
総監督 大森西三郎)

陸上部

チームSEISAで
駅伝を目指す



2017年度は、陸上
専攻2年目となる。
去年、1年間を通してい
ろいろな活動をしてきた。
生徒にとって、一番大き
な経験は、夏の合宿で星
槎・道都大学陸上部の施
設で合同合宿を行ったこ
とだ。まず、北海道の涼し
さと整った練習環境に驚
かせられた。次に、道都大
学の先輩たちの速さに驚
かせられた。生徒たちは
素晴らしい経験ができた。
今年もお世話になりたい。
今年はいよいよ、エリト
リア国からの留学生を新
たに迎える。多くの方か
らは、より一層注目を浴び
ることになる。その注
目に恥じない取り組みを
していきたい。特に、陸上
部をスタートさせた2名
の生徒は、来年度3年生
となる。悔いの残らない
競技生活となるようにし
たい。
具体的目標は、生徒個
人では目標タイムをしっ
かりとクリアし、夏の南
東北インターハイ出場を
目指したい。チームとし
ては、駅伝出場を目指す。
少しでも多くの仲間を集
めチームSEISAで駅
伝を目指す。
(陸上部監督 坂田和)

女子バレー部

常に挑戦する
気持ちをもつ



バレー部1期生が県ベ
スト16、2期生は県
ベスト8の結果を残し、
3期生は県ベスト4以上
へ進出することが最大の
目標になる。この目標を
達成するため、いくつか
の超えていかなければな
らない課題がある。
1つ目は、基礎を身に
つけること。バレーボー
ルは流れが勝敗を決す
る。1つのミスが、敗戦に
結びつくことも少なくない。
そのためには基本プ
レーの徹底が必要。小さ
なミスを防ぐために、普
段の生活から基礎基本を
大切にしていく。2つ目
は、継続する力を身につ
けること。県ベスト4に
進出するには強豪と向か
い合っていくことになる。
目の前の相手と向き合っ
ていくだけでなく、これ
までの敗戦(先輩の涙)か
ら学んだことを積み重ね
ていくことも必要。その
学んだことを継続するこ
とが、大きな力になる。最
後に「常に挑戦する気持
ちを持つこと。私たち
はチャレンジだ。最
終目標は全国大会への出
場である。全国の仲間
に笑顔が届けられるよう全
力で戦っていく。(女子バ
レー部監督 羽田野義博)

2017年 スポーツコース 主な大会

硬式野球部

- 4月～ 春季神奈川大会
- 7月 全国高等学校野球選手権神奈川大会
- 8月 夏の甲子園
- 9月～ 秋季神奈川大会
- 3月 春の甲子園

男子サッカー部

- ◆ 高体連チーム
- 3月～ 高円宮杯・U18 神奈川県
サッカーリーグ2部リーグ
- 4月～ 関東高校サッカー大会神奈川県予選
- 5月～ インターハイ神奈川県予選
- 7月～ インターハイ
- 9月～ 全国高校サッカー選手権神奈川県
- 12月～ 全国高校サッカー選手権
- ◆ クラブチーム
- 4月～ 日本クラブユース選手権関東予選
4月～6月
- 5月～ Jユースカップ関東予選
- 6月～ U-18 神奈川県サッカーリーグ
4部リーグ
- 11月～ 神奈川県クラブユースリーグ2部
- 1月～ 神奈川県クラブユース新人戦

女子バレー部

- 2月 神奈川県新人大会県大会
- 4月 関東私学大会神奈川県予選
- 5月 関東大会神奈川県予選
- 6月 関東女子バレーボール大会
インターハイ神奈川県予選
- 7月 関東私学大会 インターハイ
- 9月 西相地区秋季大会
- 11月 春高バレー神奈川県予選
西相地区冬季大会
- 12月 全国私学大会神奈川県予選
- 1月 春高バレー

陸上部

- 5月 インターハイ神奈川地区予選
- 6月 南関東大会
- 7月 全国選抜大会 インターハイ
- 9月 神奈川県新人大会
- 11月 全国高校駅伝神奈川県予選
- 12月 全国高校駅伝

17歳 ボクシング プロデビュー



星槎学園北斗校の小笠原証くん(2年)

小笠原くんプロフィール

身長: 171cm リーチ: 170cm
利き手: 右 スタイル: ファイター型
好きなボクサー: 長谷川穂積
趣味: サイクリング 好きな食べ物: 焼肉
※フェザー級は、
体重122ポンド超～126ポンド以下
(55.338kg超～57.153kg)



星槎学園北斗校の小笠
原証くん(2年)が、12月
5日にボクシングの聖地・
後楽園ホールで実施され
た第79回オーバード・
ボクサーズナイトで、プ
ロデビュー戦(フェザー
級)を戦った。星槎学園か
らは、前身の宮澤学園時
代を含め、3人目のプロ
ボクサー。小笠原くんは
第5試合に出場。対戦相
手は、プロ3戦目で13歳
年上の大黒福太選手(フ
ラッシュ赤羽)。試合の序
盤から、激しく手数を重ね
たが、残念ながら3ラ
ウンド0分42秒TKO負
けとなった。小笠原くん
は「素直に悔しい。対戦
相手は年齢、キャリアと
も上の選手。試合運びな
ど上手かった。今後は、さ
らにステップや距離の取
り方を練習していきたい」
と話した。

日本パブリックジムで、
週4日、1日3時間程行
う。ロードワークは毎日
7km。練習漬けの毎日で、
「家に帰ったらクタクタで
すぐに寝てしまう」とい
う。神奈川県内の同学年、松
本圭佑選手をはじめ多く
の高校生がインターハイ
等で活躍する中、小笠原
くんはプロのリングを主
戦場とする。4勝すれば
B級ライセンスへ切り替
わる。小笠原くんは、「19
歳までには4勝したい」
と話す。次戦に期待!